

民主化闘争情報

No. 944

2016年11月22日

発行 日本鉄道労働組合連合会

(JR連合)

11月21日、JREユニオンの仙台地本に続き、貨物鉄産労九州地区本部で待望の組織拡大を果たした。新たに迎えた仲間は、九州保全技術センターの今年度入社の中途採用者（40歳）。9月26日開催のJR連合組織戦略会議で意思統一を図った組織強化・拡大の取り組みが結実した。

貨物鉄産労が九州で組織拡大！ JREユニオンに続き、拡大が続く！

2017税制改正でJR連合の政策力を存分に発揮！

貨物鉄産労では、九州をはじめとする各地区本部において加入促進活動の強化を図っており、昨年12月の北海道地区本部、そして今年1月の東海地区本部に続く組織拡大であり、中途採用で直接貨物鉄産労に新規加入した初のケースとなった。

現在、JR連合は、二島貨物特例、承継特例、貨物買換特例の延長をはじめとする、2017税制改正にむけた取り組みを強力に推し進めており、11月16日には麻生財務大臣、同21日には高市総務大臣、そして本日22日には石井国交大臣への要請行動を行い、貨物鉄産労三役から、貨物鉄産労組合員の思いを直接ぶつけている。こうしたJR貨物の経営支援に資する、貨物鉄産労そしてJR連合の政策活動の取り組みが組織拡大につながっている。

JR連合99単組81,000人の組合員は、今回加入した組合員を心から歓迎するとともに、更なる加入につなげる呼びかけ行動を展開していただくよう要請する。

一方、JR総連、JR東労組は韓国で反政府デモ！？

今、ネットで、JR総連、JR東労組が韓国で行われている反政府デモに参加していることが話題となっている。ネットでは、JR総連、JR東労組、そしてJR東労組青年部の組合旗などが高らかに掲げられている様子が映し出されているほか、動労千葉や動労水戸をはじめとする中核派系組合がデモ行進する様子も映し出されており、ネットでは「日本の極左が韓国に集結！」とコメントされている。韓国政府の転覆をめざすのはJR総連の自由だが、JR連合のほか、JR会社に抗議の電話やメールが殺到している。年末手当交渉のヤマ場、あるいは2017税制改正の佳境にあって、こうした活動を行っていることを一般組合員は知っているのか、他人事ながら心配だ。

JR連合は組合員のための、真に民主的な労働運動をめざします